



上司や先輩職員がいつも楽しそうに業務に携わっているので、私自身も生活衛生課の業務にやりがいを感じています。

栄養士 生活衛生課

石原 彩花 (いしはら さいか)

令和2年度入庁

現在担当されている仕事内容について、教えてください。

生活衛生課では、市内の飲食店等に対して営業の許可や衛生管理の助言を行っています。営業許可に関しては、許可取得の流れや施設の基準について窓口や電話で説明しています。衛生管理に関しては、「食中毒菌をつけない・増やさない・やっつける」の食中毒予防の三原則に基づいて助言を行っています。また、食中毒が起こった際には、原因を特定し、被害を拡大させないために調査を行います。



なぜ倉敷市職員を選んだのか教えてください。

倉敷市の栄養士は市民の健康づくりをサポートする健康づくり課をはじめ、食の安全・安心を守る生活衛生課、子どもたちに食育を行う学校、等様々な配属先があります。多様な仕事を経験でき、栄養士として幅広く知識が得られるところに魅力を感じ、倉敷市を選びました。また、倉敷市は海や川の自然に囲まれ、おいしい食べ物がたくさんあり、倉敷市出身ではない私にも住みやすい町であるところも決め手となりました。

職場の雰囲気について教えてください。

生活衛生課は、話しやすい雰囲気で困ったことがあれば誰にでも相談できる職場です。仕事上、外出する機会が多く、移動中の車内でも会話が弾みます。また、獣医師や薬剤師、化学職等いろいろな専門職と一緒に働いていて、休憩時間は共通の趣味や好きなものを共有して楽しく過ごしています。皆食えることが好きで、食べ物の好き嫌いやこだわりが強く、よく議論をしています。個性的で面白い職場です。



この職場でよかったと思うことはありますか？

上司や先輩職員がいつも楽しそうに業務に携わっているので、私自身も生活衛生課の業務にやりがいを感じています。衛生管理について専門的に学ぶことができるので、今後学校等へ異動した場合でも、この職場で得た知識や経験を生かして学校給食の衛生管理に携わることができます。食に関して栄養面だけでなく、衛生面でも専門職の視点で意識できるようになったところもよかったと思います。

倉敷市職員を目指す皆さんにメッセージをお願いします。

入庁前は健康づくり課や学校に配属されて栄養士業務を行うことをイメージしていました。配属先が生活衛生課で、入庁当初はどのような仕事をするのか分からず戸惑いましたが、周りの上司や先輩職員のサポートで、頑張ることができています。どの配属先でも先輩方は皆さんを全力で支えてくださると思います。ぜひ倉敷市と一緒に働きましょう！